

ニホンイタチ

Mustela itatsi Temminck

食肉目
CARNIVORA
イタチ科
Mustelidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由	1960年代以降チョウセンイタチの侵入により平野部ではほとんどみられない。チョウセンイタチとの競合により、一部の地域では消滅が懸念される。
県内分布	庄内町, 野津原町, 久住町, 九重町, 竹田市, 緒方町, 宇目町
分布域	北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生息環境	平地から亜高山帯まで広く生息する。食性の幅が広く農耕地, 草原, 河川, 樹林域など幅広い環境に適応できる。
現 状	県内で, 現在確実に生息が確認されている地点は上記地域の山間部および渓流部である。チョウセンイタチの侵入が認められない黒岳山域を除いては, 混棲関係にあるがその構造は明かではない。
備 考	日本固有種。狩猟獣。

ニホンジカ(キュウシュウジカ)

Cervus nippon nippon Temminck

偶蹄目
ARTIODACTYLA
シカ科
Cervidae

カテゴリー

大分県 地域個体群
環境庁 掲載なし

選定理由	有害鳥獣駆除, 食肉需要などを背景に捕獲数が増加傾向にあり, 個体群の貧弱化が懸念される。保護すべき地域個体群 大船山南東麓の個体群, 八戸高原~ニガキの台の個体群, 葛原~波当津浦の個体群
県内分布	国東半島, 山国町, 日田市, 玖珠町, 安心院町, 湯布院町, 別府市, 緒方町, 野津町, 臼杵市, 佐伯市, 本匠村, 宇目町, 直川村, 米水津村, 蒲江町
分布域	北海道 本州 四国 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 金華山, 瀬戸内海諸島 五島列島
生息環境	草地を餌場とするが, 森林から完全に離れて生活することはなく, 伐開地などパッチ状草地が入り込んだ森林地帯に多く生息する。
現 状	農林業被害の増大に伴い有害鳥獣として, 雌までの狩猟が論議されている。また, 食肉としての需要も高まり, 狩猟対象として捕獲数は増加傾向にある。
備 考	狩猟獣。

ニホンカモシカ

Capricornis crispus (Temminck)

偶蹄目
ARTIODACTYLA
ウシ科
Bovidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由	祖母・傾山系に安定して生息するが, 単純一斉造林(スギ・ヒノキ植林)による壮齢林は生息域とはならないため大分県下では生息地は限定されている。
県内分布	祖母・傾山系
分布域	本州 四国 九州(熊本・大分・宮崎)
生息環境	低山帯から亜高山帯にかけてのブナ, ミズナラなどが優占する落葉広葉樹林, 針広混交林などに主として生息。各種木本類の葉, 広葉草本, ササ類などを選択的に採食する。
現 状	県下では祖母・傾山系の標高およそ400m以上の広葉樹林, およびその二次林, 植栽幼齢林に生息。広葉樹やササ類の葉や冬芽などの他, 崖地のケイビランに食痕がめだつ。自然林の伐採やスギ, ヒノキの植林地化による影響をはじめ, 密猟が生存に悪影響を及ぼしている。
備 考	日本固有種。日本哺乳類学会: 保護すべき地域個体群(九州)